

2025年10月24日 発行
第5号

工務部会 こうむ NEWS

J R東労組（東日本旅客鉄道労働組合）
工 務 部 会
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-24-1
代々木総合事務所 5 階
NTT 03-5315-0941 JR 058-4112
発行人 杉本博輝 発行 編集委員会

申6号 2025年度年末手当に関する申し入れ(10月16日提出)

基準内賃金の3.7か月

組合員の総団結で満額回答を勝ち取ろう！！

工務職場で働く組合員の声を聞いてください！！

設備技セとなってから一人当たりの働き度が更に増しているのに、賃金はあがらず、期末手当も低い。これ以上私達をがっかりさせないでほしい。

日中帯はつる草や樹木の伐採対応、現場から戻って工事書類の整理に追われながらも安全・安定輸送のため、日々業務を遂行している。現場の努力に報いる回答を示してほしい。

若手の離職率が一向に止まらない。業務量に見合った手当てが貰えていないと感じる。このままではモチベーションは一向に下がるだけ、今の会社に魅力は一切感じていない。



普段と変わらない生活をしているはずなのに、物価上昇の影響でお金は減る一方、貯金を切り崩しながら生活している。経営陣は現場第一線の社員の生活基準を知らないのですか？

設備投資も必要だが、現場で働く社員にも投資が必要です。会社の業績も順調であることから、出さない・出せないは理由にはなりません。社員の本音を聞いて反映するべきです。

社長の定例会見で「鉄道事業に必要な人員は計算上約 34000 人必要なところ、約 40000 人いるので現時点で人手不足の認識はない」という発言に怒りしか感じない。現場実態を知ったうえでの発言なのか？本社と現場の乖離を感じる。この会社の先行きに不安しか感じない。

安全で安心して働ける職場を未来に残すためにも

J R東労組に結集しよう！！